



Q 子どもと一緒に図書館をよく利用しますが老朽化が気になります。より文化的な新しい図書館ができませんか。

A 現在の図書館は昭和44年7月の建設後、約40年が経過しています。その間に3度の増改築工事を行い、また、建物・設備の補修・更新により施設の改善をさせていただきました。しかし、図書資料数の増加などにより各部屋のスペースが減少し、利用者の方にご不便をおかけしています。

確かに近隣市町の新しい図書館と比べると見劣りします。何らかの形で建て替えが必要と考えていますが、市の財政状況が厳しい折、ほかの優先事業もありますので早期の建設は難しい状況です。今後、市全体の事業の中で緊急度、重要度などを考慮しながら検討していきますので、ご理解をいただきましたと思います。

Q バスの運行本数が減らされたり、バス路線が廃止されています。通院や買い物に困難なので市内循環バスなどを運行してください。

A 市内のバス路線については、以前よりバス会社から、「市役所通線は利用者が少ないため廃止したい」との申し出がありました。市役所内の公共交通検討委員会や関係地区総代さんにお集まりいただき検討した結果、廃止やむなしとの結論となり今年の4月から廃止となりました。

市民の足の確保として市内巡回バス(コミュニティバス)を導入している市町村がありますが、本市の現段階では今の路線バスを維持するのが精一杯であり、路線を増やしたり新たにコミュニティバスを運行するのは難しいのが現状です。

しかし、市内の交通空白・不便地域が増えてきたことから、交通弱者の足の確保について、乗りやすく、利用しやすい交通手段を検討していきたいと考えていますのでよろしくお願ひします。

Q 市内にはリサイクルステーションがあまりありません。ショッピングセンターの駐車場の片隅などを使って資源物の回収をしたらどうでしょうか。

A ショッピングセンターなどが、資源物を出すことができるところになれば、買い物の折に資源物を出すことができ、市民にとって便利になると思います。

現在、缶やペットボトル、トレイのような限られた資源物を出すことができるように、店内に場所を設けているところがあります。しかし、その場所にごみなどを捨てられてしまい、管理に苦慮しているのが現状です。

ショッピングセンターなどを資源物の収集拠点とするときは、必ずその場所を管理する何人かの従事者を置かなければならず、その人件費が大きな負担となります。

当面は、資源物の朝出し事業を進める中で、資源物が出しづらいとの声にこたえるため、平成21年度から、土曜日または日曜日に資源物を受け付ける収集拠点を1カ所設ける方向で調整をしていきますのでよろしくお願ひします。

Q 現在市の借金はかなりあるようですが、今後どのような方法でいつまでに返済するのですか。

A 市は、「真の自立できる蒲郡健全化改革チャレンジ計画」を策定しています。この計画の中で、人件費の削減や事務事業の見直し・改善、市債発行額の抑制など歳出削減に取り組んでおります。

平成19年度決算で一般会計の市債残高は、年度中の借入額を抑えたことおよび元金償還額が前年度に比べ3億円ほど増加したことにより、前年度より8億円少ない257億円となりました。

市債の返済は、今年度がピークで来年度以降は減少傾向になりますが、市債発行は単に財源不足を補うだけでなく、将来、便益を受けることとなる後世代の住民と現世代の住民との間で負担を平準化する役割も担っていますので、借り入れをなくすことは難しいと考えます。

いろいろな事業を進めていく上で、長期的な実施計画により必需的な事業を選択することで、市債発行の抑制に取り組んでいますので、ご理解をお願いします。